



日鉄興和不動産

News Release

2022年10月20日

報道関係者各位

日鉄興和不動産株式会社

3年ぶりに品川駅前が幻想的な“アウトドアシネマ空間”に大変身！

世界各国から厳選したショートフィルム全27作品を上映！イルミネーション点灯式も実施
「品川国際映画祭」開催

～オープニングイベントにはLiLiCoさん・井桁弘恵さんが登場！～

日鉄興和不動産株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：今泉 泰彦）は、2022年11月7日（月）～11月12日（土）の期間、品川インターシティ セントラルガーデンにて、3年ぶりの屋外開催となるアウトドアシアター「品川国際映画祭」を開催します。



品川インターシティを舞台に幻想的なアウトドアシアターを敷設、アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」などを手掛けるショートフィルムの総合ブランド「ShortShorts」と、五感で体感できる移動式野外映画館プロジェクト「CINEMA CARAVAN（シネマキャラバン）」がコラボレーションし、世界各国から厳選されたショートフィルム全27作品を無料で上映します。

また、映画だけでなく、首都圏を中心にさまざまなイベントに出店しているキッチンカーが大集合。さらに、注目のアーティストによる音楽ライブや、エリア内にはインパクトある豪華なイルミネーションもご用意しています。来場者が食事をしながらゆったりと映画を楽しめるエンターテインメントイベントになっています。

【都心に幻想的で非日常的なアウトドアシアターが登場！「品川国際映画祭」とは？】

星空の下や街中など屋外で上映されるアウトドアシアターがコロナ禍で改めて注目を集める中、2018年から始まった本イベントは、都心に突如現れる非日常的なアウトドアシアターとしてこれまでに多くの方に来場いただきました。コロナ禍で2020年・2021年は屋外での実施の中止を余儀なくされましたが、本年春にはオンラインで実施、そして今秋、3年ぶりにアウトドアシアターを設置し屋外で開催することになりました。

シアターは、屋外映画祭の先駆けである「CINEMA CARAVAN」が演出。上映される映画コンテンツは、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」がセレクトした名作を、「世界の今 セレクション」や「after コロナ セレクション」などの10のカテゴリーに分け、日替わりで上映します。

日鉄興和不動産株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR
Tel.03-6774-8000（大代表） Fax.03-6774-8328 <http://www.nskre.co.jp>



【「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」とは？】

米国アカデミー賞公認、日本発アジア最大級の国際短編映画祭。才気溢れる映像作家の魅力を日本から世界へ発信しています。短編というジャンルを極めつつ、毎年新しい挑戦を続ける映画祭で、俳優の別所哲也氏が代表を務めています。1999年に東京・原宿で誕生し、映画『スター・ウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムを上映するなど注目を浴びました。

2018年に映画祭が20周年を迎えたことを記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」に。2019年1月には、20周年の記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」が行われ、また、2019年の映画祭より、オフィシャルコンペティション（インターナショナル部門、アジアインターナショナル部門、ジャパン部門）およびノンフィクション部門の各優秀賞4作品が、2022年からはアニメーション部門の優秀賞を含む計5作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得。映画祭を通じて若手クリエイターを応援しています。

(<https://www.shortshorts.org>)



【「CINEMA CARAVAN (シネマキャラバン)」とは？】

「地球と遊ぶ」をコンセプトに、五感で体感できる移動式野外映画館プロジェクト。

写真家・志津野雷氏を中心に2010年にスタート。日常の風景に野外上映用のスクリーンを広げ、非日常の映画館を作り、旅で出会った方々から生きる知恵や工夫を学び、各地に根付く文化や風景、リアルな現実など、旅をして出会った感覚をさまざまな手法で切り取り、世界や次代に伝えていくための情報交換の場をつくっています。逗子海岸映画祭の主催や、東京国際映画祭、サンセバスチャン国際映画祭など、国内外の映画祭での出展、大地の芸術祭・越後妻有アートトリエンナーレ（新潟県）など地方自治体との連携による地域活性化など、活動はジャンルや国境を越え多岐にわたります。





【品川国際映画祭】上映作品 ※一部を抜粋

開催期間中に上映する映画は、ショートフィルムを中心とした全9セレクション24作品。日替わりで名作をご覧ください。さらに、最終日の11月12日(土)には特別上映プログラムとして、『大停電の夜に』を上映します。また、オンライン限定の「オンライン限定セレクション」も3作品上映。現地に来られない方にも名作を無料でご覧いただけます。

◇日本の玄関口・品川から発信「日本の美 セレクション」

『肝愛さ』(24分15秒)

監督：宮城夏鈴

製作：日本(2022年)

ジャンル：ドラマ

主人公ハナは、色々なものからお休みをもらって、オバーの住む島でのんびりと暮らしていた。そこにハナの母が不慮の知らせを届けに島にやってきて…。それぞれに湧き上がってくる感情と向き合う沖縄旧盆の3日間。

※他2作品



◇これからの未来へと変化する環境「after コロナ セレクション」

『途切れない電話』(15分32秒)

監督：Lucas Besnier

製作：フランス(2020年)

ジャンル：ドラマ

緊急コールセンターのオペレーターとして働くローズは、幼い娘と息子の世話をしながら在宅勤務をしなければならない。仕事と家庭の緊急事態が重なり、状況が緊迫していく…。

※他2作品



◇変化する環境で再出発「Re-Construct セレクション」

『エモーショナル・ヒューズボックス』(15分00秒)

監督：Rachel Tunnard

製作：イギリス(2014年)

ジャンル：ドラマ

アナは母親の家の庭の片隅に住み、自身の親指で動画を作っている。そんな彼女を見かねた母親は、彼女に外に出るよう説得するが…。

※他2作品





【ボリューム感溢れる森のイルミネーションも登場！

LiLiCo さん・井桁弘恵さんをゲストに迎えた点灯セレモニーを実施】

メイン会場に隣接する“森”にはイルミネーションを装飾します。LED を使用した圧倒的なボリューム感で会場を華やかな雰囲気でも包み込みます。イベント初日には映画コメンテーターとしても活躍するゲストの LiLiCo さんと、トーク番組の MC にも抜擢されている今注目の女優 井桁弘恵さんによるイルミネーションの点灯セレモニーも実施します。また、点灯式の様子はオンラインでも生配信いたします。



LiLiCo さん



井桁弘恵さん



<LiLiCo さん プロフィール>

1970 年スウェーデン・ストックホルム生まれ。18 歳で来日、1989 年から芸能活動スタート。TBS「王様のブランチ」に映画コメンテーターとして出演、J-WAVE「ALL GOOD FRIDAY」など、出演番組も多数。アニメの声優やナレーション、俳優などマルチに活躍する映画コメンテーター。2011 年ネイルクイーン協会功労賞受賞、2013 年ベストジーニスト協議会選出部門受賞などファッションにも意欲的に取り組み、ジュエリーのデザイン、プロデュースも手掛ける。



<井桁弘恵さん プロフィール>

いげた・ひろえ/1997年2月3日生まれ、福岡県出身。

2018年より、日鉄興和不動産のイメージキャラクターを務める。2017年「ZIP!」(日本テレビ系)にてリポーターを務めたのち、18年「ゼクシィ」11代目CMガールに。22年はドラマ「メンタル強め美女白川さん」(テレビ東京系ほか)で連ドラ初主演を務めたほか、「おしゃれクリップ」(日本テレビ系)MC、「ヒルナンデス」(日本テレビ系)水曜レギュラーといったバラエティから、「NHK 高校講座 地理総合」(NHK Eテレ)のレギュラーも務めるなど、多方面で活躍中。2023年夏には、主演映画『喜劇釜石ラーメン物語』が公開予定。

【イベント初日は LiLiCo さんのトークショーも開催！】

イベント初日の11月7日(月)18時からのオープニングイベントでは、映画コメンテーターとしても活躍するタレント・LiLiCoさんのトークショーを開催。レギュラー番組で20年以上映画のコメンテーターを務めるLiLiCoさんに、ショートフィルムの魅力や、おすすめ作品についてお話しいただきます。

【『肝愛さ』宮城夏鈴 監督ミニトークショー開催】

イベント3日目に上映される『肝愛さ』の上映後には宮城夏鈴監督が登場するミニトークショーを開催。作品に込められた想いや撮影時のエピソード、出演者のこだわりなどを監督の目線からお話しいただきます。

【首都圏のイベントでも大人気のキッチンカーが集結！野外で映画を見ながら味わう“シネマグルメ”】

首都圏を中心にさまざまなイベントに出店する人気のキッチンカーをはじめ、こだわりのグルメが集結！アウトドアシネマ空間で「観る・聴く・味わう」を一度にお楽しみいただけます。

■ BREW DOG

“PUNK”をキーワードに“大量生産されたラガー”か“面白みのないエール”しかない当時のUKビール市場に“クラフトビール”カテゴリーを作ることを目指して2007年創業。ガレージで少量醸造し地域に販売するところから始まり、今では欧州各国をはじめグローバルに展開。

UKNo.1クラフトビールメーカーとしての確固たる地位を築いています。



■ カレースタンド feat.いっちーカレー

東京都内各地でフード事業を行う「SpAcE」と原宿の「令和食品館」にも商品を出す「いっちーカレー」のコラボタイトル。

ここでしか味わえない絶品料理をお楽しみください！

スパイス好き必食です。





■ジビエドックスタンド feat. den_foods

日本橋エリアを中心に「サステイナブルな食をカジュアルに」をテーマに活動するden_foodsのジビエを中心としたメニューが自慢です。
高たんぱく・低カロリーのお食事をお探しの方には是非オススメしたいメニューがそろっております！



【個性溢れるアーティストが登場！シネマ上映前には注目のアーティストのライブを開催】

映画上映前には、エリア内で注目のアーティストが音楽ライブを開催。

個性溢れるアーティストが登場し、品川インターシティやその周辺で働くビジネスマンを心地よい音楽で会場へと誘います。

《出演アーティスト》

Eminata
金子 巧
長島 源
MATER



【地元団体と連携した「Local Friendship Stages」を開催！】

（土曜日開催）学区内である港区立港南中学校などと連携したステージコンテンツを開催。歌やダンスをはじめとした、品川にゆかりのある各団体のパフォーマンスを公開します。多様なパフォーマンスをお楽しみください。

※出演予定団体

目黒学園カルチャースクール・テーマパークダンス／港区立港南中学校ダンス同好会／CJC（Come and Join the Chorus）／GRANITA（グラニータ）／Rainbow Venus（レインボービーナス）／しながわ学院エンタ部／スガナミ Gospel Choir（ゴスペルクワイヤ）

【コロナ禍における感染対策】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、政府、自治体、関係諸機関等から示される正確な情報の収集に努めるとともに、感染拡大の防止に細心の注意を払いながら運営します。お越しくださる皆さまにおかれましても、手洗いやマスク着用、うがいなど、感染防止策へのご理解とご協力をお願いします。

なお、感染状況により、急遽イベントの中止もしくはオンライン開催に変更する場合がございます。あらかじめご了承くださいませよう、よろしくお願い申し上げます。



■開催期間

2022年11月7日（月）～2022年11月12日（土）

■CINEMA 上映時間

- ・ショートフィルム：2022年11月7日（月）～11月11日（金）
第一部 19時00分～19時50分、第二部 20時00分～20時50分
- ・『大停電の夜に』：2022年11月12日（土） 18時00分～20時10分

※上映作品により上映時間は多少前後します。あらかじめご了承ください。

■イルミネーション点灯式・トークショー

2022年11月7日（月）オープニングセレモニー 18時00分～18時45分
点灯式・トークショーはオンラインで生配信いたします。

■『肝愛さ』宮城夏鈴 監督ミニトークショー

2022年11月9日（水）映画上映後 19時50分～20時00分

■音楽 LIVE 演奏時間

11月8日（火）～11日（金）18時00分～18時45分

■飲食エリア運営時間

11月7日（月）～11日（金）17時00分～22時00分 ※L.O. 21時30分
11月12日（土）11時30分～22時00分 ※L.O. 21時30分

■イルミネーション点灯時間

16時30分～24時00分 ※11月7日（月）は点灯式開催のため点灯開始時間が異なります。

■Local Friendship Stages

11月12日（土）12時30分～17時00分

【品川国際映画祭 公式サイト】

※2022年10月20日（木）11:00 公開

<https://www.shinagawa-cinema.com/>



■ アクセス

《会場》

品川インターシティ セントラルガーデン
(東京都港区港南 2 丁目15 番 2 号)

《アクセス》

- ・ JR 品川駅より徒歩 6 分
- ・ 京急 品川駅より徒歩 8 分
- ・ 京急本線 北品川駅より徒歩 8 分



【品川国際映画祭 公式サイト】



※QR コードからでもアクセスが可能です。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

■本リリースについて
日鉄興和不動産株式会社
広報室
担当：丹羽（にわ）、吉田
電話：080-1383-5138 FAX：03-6774-8328
メール：tomoe.niwa@nskre.co.jp

■イベント催事について
「品川国際映画祭」PR 事務局
(KMCgroup 株式会社内)
担当：五十嵐、阿部、石井
電話：03-6261-7413 FAX：03-6701-7543
メール：info@kmcpr.co.jp